令和８年８月

各　位

一般社団法人　農業開発研修センター
会 長 理 事　増　　田　　佳　　昭
［公　　印　　省　　略］

令和８年度（通算第５７回）農産物流通研究会の開催について

拝　啓　時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、標記の研究会を別紙要領のとおり、開催します。当センターでは、地域農業の振興・活性化とＪＡの改革に貢献することを目的として、各種の研究会（研修会）を毎年開催しており、全国各地から多数の方々にご参集いただいております。

今年度の標記研究会は、生産現場や卸売業界の動向と併せて、産地がいかに生産を維持・拡大できるか、また産地がどのような販売戦略を図っていくのかに焦点をあてて企画・開催します。

本研究会では、京都市中央卸売市場への現地視察を設定いたしました。また、参加者相互や講師との交流の場である懇談会も開催します。是非とも、皆様の研究会への積極的なご参加をよろしくお願い申し上げます。

最後に、業務ご多忙の折、誠に恐縮に存じますが、研究会への参加者の派遣に格別のご配慮を賜りたく、重ねてお願いを申し上げます。また、ご希望があれば本要領とは別にメールでもご案内いたしますので、申し添えます。

敬　具

令和８年度（通算第５７回）

農 産 物 流 通 研 究 会 開 催 要 領

主催：一般社団法人農業開発研修センター

≪趣　旨≫

わが国の農産物流通をめぐる情勢は、生産者の高齢化や後継者不足により、生産の安定化や、産地の維持が困難な状況になっています。また「物流2024年問題」により、産地から卸売業界に至るまで、物流の効率化や安定供給の確保が大きな課題となっています。また卸売業界においても、市場の取扱量の伸び悩みなどにより、経営の合理化や統廃合の動きが加速するなど厳しい状況にあります。

以上、このような情勢変化を踏まえて、本研究会では、生産現場や卸売業界の動向と併せて、産地がいかに生産を維持・拡大できるか、また産地がどのような販売戦略を図っていくのかに焦点をあてて開催します。

期　　間：令和８年９月１０日（木）～１１日（金）

会　　場：京都ＪＡビル　２０１・２０２会議室（アクセス参照）

対　　象：①ＪＡ、全農都府県本部・本所、都道府県農協中央会・連合会、その他全国連の営農企画担当役職員
②ＪＡ経営トップ層（営農担当常勤役員、新任役員など）
③ＪＡ部門管理層（連合会、ＪＡの営農部署の部課長）
④ＪＡ部会リーダー
⑤卸売市場関係者（卸売会社、開設自治体）
⑥その他、農産物流通関係機関・関係団体の役職員

定　　員：５０名程度（現地視察：２０名程度）

参 加 費：（税込・一人当たり）

会　　員 <>内は、2名以上をまとめて申し込んだ場合の金額です。	４０，７００円＜３６，３００円＞
非　会　員 <>内は、2名以上をまとめて申し込んだ場合の金額です。	５１，７００円＜４６，２００円＞
会友（個人会員）に新規加入の場合 （令和８・９年度の会友会費10,000円を含む）	４５，７００円

注１：会員は、会員所属者および令和７年度以前からの会友（個人会員）の金額です。
注２：令和７年度以前からの会友（個人会員）の部分受講は、別途割引があります。

現地視察：
京都市中央卸売市場を見学するコースを設定**（申込先着順）**しています。ご希望の方は申込書へご記入ください。９時から京都市中央卸売市場の「京の食文化ミュージアム・あじわい館」でＤＶＤ鑑賞がありますので８時５０分までにお越しください。見学後は現地にて解散します。本施設には駐車場はありますが、限りがありますので、公共交通機関もしくはタクシーをご利用ください。

電車の場合：ＪＲ嵯峨野線「丹波口」駅から徒歩３分（ＪＲ京都駅から２駅）
タクシーの場合：所要時間はＪＲ京都駅から約20分程度

昼　　食：
１１日㈮に弁当（1,４００円（税込））を準備します。ご希望の方は、参加申込書からお申し込みください。

懇 談 会：
参加者と講師の交流の場とした懇談会を予定しています。ご希望者は申込書にご記入ください。
＜開催予定日時＞
と　　き：9月１０日（木）　１７：３０～（９０分程度）
ところ：ホテルエルシエント京都八条口１階　ＯＲＡＮＧＥ　ＴＥＲＲＡＣＥ
懇談会費：７,０００円（消費税込）

申込方法：
①５ページの参加申込書をファックスで送信してください。
②受付完了通知をメールで送信しますので、参加費（昼食代・懇談会費）を送金してください。
なお、振込手数料はご負担ください。
〈振込先〉
京都府信用農業協同組合連合会（京都信連）
本　　店　　当座　　口座番号：６３７３２９１
京都銀行　京都駅前支店　　普通　　口座番号：３１６４０７３
口座名義：一般社団法人農業開発研修センター（シヤ）（ノウギヨウカイハツケンシユウセンター）
申込締切日：９月３日（木）１７：００
当開催要領は、ホームページ（https://agridtc.or.jp/nittei.html）に掲載しています。

キャンセルポリシー：
お申し込み後のキャンセルはキャンセル料が発生しますのでご注意ください。
・９月３日（木）　１７:００まで …… １０,０００円
・９月３日（木）　１７:００以降 …… 全額

問い合わせ（申し込み）先：
一般社団法人農業開発研修センター　研究会受付係

〒６０１－８５８５　京都市南区東九条西山王町１（京都ＪＡビル）
ＴＥＬ：０７５－７４８－０７０３
ＦＡＸ：０７５－７４８－０８５５
E-mail：seminar@agridtc.or.jp
ＵＲＬ：https://agridtc.or.jp

アクセス：ＪＲ京都駅（八条口）より徒歩５分

（ＱＲコードもご参照ください）

日　　程：

≪第１日目≫　９月１０日（木）

【９：００～１１：００　現地視察（京都市中央卸売市場：申込先着順約２０名)】
８時５０分現地集合（ＪＲ嵯峨野線「丹波口」駅から徒歩３分、ＪＲ京都駅からタクシーのご利用が便利です。所要時間は約20分程度）　＜場所はＱＲコードより
９：００～１０：００　京の食文化ﾐｭｰｼﾞｱﾑ・あじわい館　ご参照ください＞
9:00～ 9:20　「市場の一日」ＤＶＤ鑑賞
9:20～ 9:30　あじわい館から青果卸売場へ移動
9:30～ 9:40　青果二次せり見学
9:40～ 9:55　青果卸売場・仲卸店舗見学
１０：００～１１：００ 京都青果合同株式会社より解説
１１：００　解散（各自昼食後、ＪＡビルに移動）

13:00～13:10　**開会あいさつ**　一般社団法人農業開発研修センター　会長理事　増田　佳昭

13:10～13:20　**オリエンテーション**　神戸大学名誉教授　小野　雅之　氏

13:20～14:20　**報告Ⅰ　「食料システム法」の施行と産地・流通業界に期待したいこと**
（うち質疑応答約10分）

農林水産省　新事業・食品産業部　企画グループ
課長補佐　皿　谷　俊　祐　氏

○中東情勢の不安定化等における原油価格高騰による資材・食品原材料の高止まり等国際情勢の激変によるわが国の食料・農業をめぐる現状は
○合理的な価格形成の実現と食料に関わる産業の持続的な発展をめざすための課題は何か
○わが国農業の生産基盤の維持・強化のために産地・流通業界に期待したいこと

14:20～14:40　休　　憩

14:40～15:40　**報告Ⅱ　卸売市場流通をめぐる情勢と今後の動向**
（うち質疑応答約10分）

農業ジャーナリスト　小　暮　宣　文　氏
（東京農業大学客員教授）

○専門は青果物流通、卸売市場流通。元日本農業新聞論説委員室長、客員論説委員。主な著書に『卸売市場に希望はあるか　青果物流通の未来を考える』（実生社）
○卸売市場・卸売業者の新たな動き、グループ化とその弊害
○独自路線を歩む卸売業者はどう対処すべきか
○産地は問題の根源を考え、卸売市場・卸売業者に何を求め連携すべきか

15:40～16:00　休　　憩

16:00～17:00　**報告Ⅲ　わが社の事業戦略と産地に期待したいこと**
（うち質疑応答約10分）

株式会社フルックス　常務取締役　藤　澤　公　義　氏

○昭和51年８月に創業。青果仲卸事業、青果直販事業、カット野菜・ミールキャット等幅広く事業を展開。
○生産者の減少や需給調整の困難性など、現在の青果物流通をめぐる厳しい情勢をどう見ているのか
○自社の持つ機能（原材料調達機能、加工・製造機能、販売機能等）を活かした青果物流通の最適化への挑戦

17:30～19:00　懇談会

≪第２日目≫　９月１１日（金）

シンポジウム「産地の生産拡大と販売力強化にどう取り組むか」

9:30～ 9:50　**座長解題**

福井県立大学　経済学部　　教　授　　堀　田　　学　氏

＜座長解題＞

○シンポジウムで議論したい論点と参加者に期待したいこと

○２つの実践報告の位置づけ

9:50～10:50　**実践報告①　わがＪＡの生産振興と販売力強化に向けた取り組み**
－マーケティング志向の営農指導によるブランド化の実践－

石川県　石川かほく農業協同組合　営農部　営農企画課
課　長　　櫻　井　和　幸　氏

○平成６年に誕生した１市２町を管内とするＪＡ。　組合員総数8,861名（うち正組合員4,512名）、貯金856億円、貸出金138億円、長期共済保有高2,520億円、販売品取扱高45億円、購買品供給高33億円(令和７年度実績)。「ＴＡＣパワーアップ大会2023」ＴＡＣ部門で全農会長賞受賞

○生産者の高齢化等により産地存続が危ぶまれたかほく市特産「高松紋平柿」、「高松ぶどう」の生産振興とブランド化の確立

○市場ニーズに対応した栽培方法による商品化率の向上。空き圃場の早期把握と新規就農者へのマッチングによる産地育成への取り組み

10:50～11:00　休　　憩

11:00～12:00　**実践報告②　わがＪＡの生産振興と販売力強化に向けた取り組み**
－糸島産ブランドの展開による販促活動の強化－

福岡県　糸島農業協同組合　代表理事組合長　　相　田　俊　郎　氏

○昭和37年に誕生した糸島市域を管内とするＪＡ。組合員総数15,278名（うち正組合員4,964名）、貯金1,007億円、貸出金155億円、長期共済保有高3,270億円、販売品取扱高110億円、購買品供給高32億円(令和７年度実績)。ＪＡ糸島産直市場「伊都菜彩」来店者累計2,000万人達成（令和５年３月）

○園芸流通センターによる福岡大同青果市場への個人出荷者の共同輸送を実施。共同施設を活用した集出荷業務の拡大および効率的な出荷体制の構築

○重点取引市場におけるトップセールスなど積極的な販促活動の展開と糸島市や関係機関との連携による輸出事業にも視野に入れた㊎(まるいと)ブランド品の販売強化

12:00～13:00　昼　　食

13:00～14:10　**討　　論**

(座　　長) 前　掲　　堀　田　　学　氏
(ｺﾒﾝﾃｰﾀｰ) 京都青果合同株式会社 野菜部　執行役員　村　上　勝　也　氏
神戸大学名誉教授　　小　野　雅　之　氏

14:10～14:30　休　　憩

14:30～15:50　**報告Ⅳ　これからの農産物流通の展望と産地・卸売業界の課題**
（うち質疑応答約10分）

和歌山大学　経済学部　　教　授　　岸　上　光　克　氏

○専門は農業経済学（農協共販論、農産物流通論、地域づくり戦略論）。著書に『農業協同組合の組織・事業とその展開方向－多様化する農業経営への対応－』、『マーケットイン型産地づくりとＪＡ－農協共販の新段階への接近－』など多数

○最近の卸売市場の動向と今後の展開－市場再編の動向－

○卸売市場をめぐる制度環境の変化と今日的役割は何か－産地および卸売業界の現状をどう認識するか－

15:50～16:00　**閉会あいさつ**　一般社団法人農業開発研修センター　常務理事　　瀬津　　孝

注）講師の都合等により、報告時間等が変更になる場合があります。予めご了承ください。

農業開発研修センター　行き
〈ＦＡＸ：０７５－７４８－０８５５〉

令和８年度（通算第５７回）農産物流通研究会参加申込書

〒　　ＴＥＬ　　ＦＡＸ

ご 住 所：

貴機関名：

ご記入者（部課名）　　（ふりがな お名前）

部課・役職名	参 加 者 氏 名（ふりがな）	会友同時加入（希望者は〇）	昼食(弁当)（希望者は〇）	懇談会（希望者は〇）	視察（希望者は〇）
〈 記 入 例 〉 営 農・企 画 課 長	けんしゅう たろう 研 修 太 郎	〇	〇	〇	〇

※受付完了通知と請求書をメールで送りますのでメールアドレスは必ずご記入いただきますようお願いいたします。

@

〈送 金 状 況〉
１．振込（予定）先 ‥‥‥ イ．京都信連　ロ．京都銀行（該当する記号に〇印をつけてください）

２．振込（予定）日 ‥‥‥　　月　　日

注１）必要事項をご記入のうえ、ファックスで送信してください。
≪申し込み順に受け付けます。定員に達した時点で締め切り、受付できなかった方には連絡します。≫
２）ご記入いただいた情報は、研究会の受付事務、参加者に配布する名簿作成、以後の研究会の案内のために使用し、それ以外の目的で使用することはありません。

農業開発研修センターの調査診断・調査研究事業のご案内

一般社団法人農業開発研修センター

当センターでは、これまで数多くのＪＡグループなど、各機関・団体からのご要請（委託）を受け、調査診断（コンサルティング）に取り組んでまいりました。そこで、ＪＡが取り組んできた改革の実践と検証をはじめ、現場で悩まれておられる課題の解決に向けて、様々な事例を豊富に取り組んできた経験と実績がある当センターを今こそ、ぜひともご活用ください。

なお当センターでは、ＪＡの各種計画づくり、特に「地域農業振興計画」や「中期経営計画」の策定に際し、重要となる組合員の意向を把握するための各種アンケート調査の企画・集計・分析に限定した調査診断にも対応いたしますので、お気軽にご相談ください。

当センターの調査研究・調査診断（コンサルティング）の特徴

■調査研究■　委託者から与えられたテーマへの有効な接近方法を工夫し、調査研究班を編成して、委託者の問題意識に明確に応える調査研究成果を実現します。

■調査診断■　的確な情勢分析と現状分析とを踏まえて、現状における問題の所在とその原因・背景の解明を行うとともに、委託者の問題意識と期待に応えられる新しい方向付けと有効な改善方策を具体的に提案・提言します。特に、「地域農業振興計画」やＪＡの「運営基本構想」・「中期経営計画」の見直しの助言・支援を得意としています。

取り組み過程では、当センターが蓄積してきた様々なノウハウを活用します。特に、アンケート調査とヒアリング調査を現状分析のための手法として重視しており、多様で有効な調査のノウハウを蓄積しています。

具体的な調査テーマ例

１．地域農業診断

○地域農業の問題点を明らかにしたうえで振興方向を見極め、取り組み課題を提示
○「地域農業振興計画」の見直しの助言・支援

２．ＪＡ調査診断

○現状分析で問題点を明らかにし、有用な情報提供と対応方策による助言・提案
○「基本構想」や「中期経営計画」見直しへの助言・支援

３．各テーマ別課題への助言・支援

○フルパッケージの計画策定の助言・支援とは別に、各分野に設定された個別重要課題・施策に対する助言・支援

４．相談受託

○管理職層やトップ層が抱えている悩みへの対応など期間を設定して、支援・アドバイス
○業務に関する企画・運営の継続的支援を目的に実施

申し込みと申込以降の取り組み手順について

①相談・申し込み(委託者⇒センター)	○どのようなことでも結構ですのでご連絡ください。
②打ち合わせ検討(委託者⇒センター)	○ヒアリングをさせていただきながら課題を設定します。
③「実施計画書」提案(委託者⇒センター)	○課題へのアプローチの方法や実施スケジュールなどを提示します。
④契約の締結(委託者⇒センター)	○ご契約内容について確認します。
⑤調査・診断の実施	○「実施計画書」を中心にご要望に併せて進めさせていただきます。

一般社団法人農業開発研修センター

令和８年度農業開発研修センター研究会開催一覧

※現地視察等については参加費とは別料金

7月 農協問題総合研究会（通算第55回）

【時　期　・　期　間】7/15（水）～17（金）　３日間　　【開　　催　　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層（組合長・理事長、専務など）、企画担当幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、ＪＡ幹部候補
【参　　加　　費】会員・会友：59,400円　　非会員：89,100円

ＪＡ関係者の意識改革と資質の向上を狙いとするとともに、今後のＪＡ運動の展開方向と展開条件を総合的に解明するため、先進ＪＡや専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

8月 地域農業振興に関する研究会（通算第50回）

【時　期　・　期　間】8/20（木）～21（金）　２日間　　【開　　催　　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層（営農担当役員など）、営農経済担当幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、市町村議会・農政担当部署
【参　　加　　費】会員・会友：40,700円　　非会員：51,700円

地域農業振興計画立案・推進関係者の資質の向上を狙いとするとともに、地域農業振興・活性化の課題と対応方向を解明するため、先進事例や専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

9月 農産物流通研究会（通算第57回）

【時　期　・　期　間】9/10（木）～11（金）　２日間　　【開　　催　　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層（営農担当役員など）、営農経済担当幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、ＪＡ部会リーダー
【参　　加　　費】会員・会友：40,700円　　非会員：51,700円

農産物流通に関わる関係者の資質向上と課題解決力の強化に資するため、先進産地や流通業界の専門家等からの多彩な報告とシンポジウムを実施する。開催期間中に現地視察を予定。

10月 ＪＡ共済総合研究会（通算第33回）

【時　期　・　期　間】10/21（水）～23（金）　３日間　　【開　　催　　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層（共済担当役員など）、共済担当幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、ＪＡ幹部候補
【参　　加　　費】会員・会友：59,400円　　非会員：89,100円

ＪＡ運動とＪＡ経営の双方の視点からＪＡ共済の今日的課題を解明するとともに、今後の事業戦略確立の方向性を探るため、先進ＪＡや専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

11月 ＪＡの女性組織活性化に関する特別研究会

【時　期　・　期　間】11/19（木）～20（金）　２日間　　【開　　催　　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層、幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、ＪＡ幹部候補、都道府県農協指導検査部署担当者
【参　　加　　費】会員・会友：40,700円　　非会員：51,700円

ＪＡの女性組織活性化のあり方について企画内容に力点を置き、事例報告や専門研究者等からの報告と重要課題をテーマにしたシンポジウム方式を採用して実施する。

1月 ＪＡの営農事業改革に関する研究会（通算第５回）

【時　期　・　期　間】1/21（木）～22（金）　２日間　　【開　　催　　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層（営農担当役員など）、営農担当幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、ＪＡ幹部候補
【参　　加　　費】会員・会友：40,700円　　非会員：51,700円

地域農業振興・活性化の課題（地域農業振興計画の策定・実践を含む）の解明とＪＡの営農経済事業の改革方向を探るため、先進事例や専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。開催期間中に現地視察を予定。

2月 ＪＡ金融問題研究会（通算第45回）

【時　期　・　期　間】2/ 4（木）～5（金）　２日間　　【開　　催　　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層（信用・共済担当役員など）、信用・共済担当幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、ＪＡ幹部候補
【参　　加　　費】会員・会友：40,700円　　非会員：51,700円

ＪＡ金融関係者の資質の向上を狙いとするとともにＪＡ金融をめぐる構造的諸問題を解明するため、事例報告や専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

【連絡先】〒６０１－８５８５
京都市南区東九条西山王町１　京都ＪＡビル内
一般社団法人農業開発研修センター
ＴＥＬ：075－748－0703　　ＦＡＸ：075－748－0855
Mail　：info@agridtc.or.jp
ＵＲＬ：https://agridtc.or.jp/